



# モーニングセミナー その他留意点

千葉県倫理法人会 MS委員会

## モーニングセミナー進行上の留意点（特別編）

ポイントは、活力テンポ・タイミング。洗練された「自然な流れ」を大切に。

日本ではこれを「間」と呼びました。

「間」が抜けても、「間」が閉まりすぎてもいけません。

進行者・朝の挨拶・葉輪読のリーダーは、元気に、堂々と。

会場全体が清々しく「凜」とした空気が行き渡るような  
テンポとタイミングをつくるよう、気を配ってください。

開場～

BGM を流し、皆さんをお迎える「ムード」を演出しましょう。

**「日本創生の詩」**

開始 2 分前

腰を立て、肩の力を抜き、深い呼吸で。

短時間で自己凝視、本番に備えて集中力を高めます。

開会コール

進行者の第一声が、その場の空気を決めます。

元気よく、ハッキリとした口調で、皆さんの方を向いて行います。

慣れないうちは、進行要領を両手で見ながら行ったほうが自然です。

**ハードケースクリアファイルに入れる**



倫理法人会の唄「夢かぎりなく」斉唱

ここに紹介するのは、高度な技術ですが、人の動きを考慮したベスト・タイミングは以下のとおりです。

進行：「倫理法人会の歌「夢かぎりなく」斉唱←（ここで CD スタート）

（イントロにかぶせて）「ご起立ください！」

**「夢かぎりなく」斉唱**

進行：（唄い終り、後奏が流れる中で元気よく）「ご着席ください！」

唄の斉唱は、発声練習の代わりであると同時に、歌詞に込められた倫理法人会の方向を確認し、意識統一を図るセレモニーでもあります。顔の筋肉を十分に動かし、お腹の底から声を出して唄うよう、心がけてください。そのためには、音響機器にも気を配り、質の良い音が、やや大きめの音量で流れるようにして下さい。

朝のあいさつ

リーダーは、進行席の近くなどでスタンバイして、極力、短時間で演壇に立てるようにします。進行者に呼ばれたら、素早く中央に立ち、一旦、全員を見渡し、意識をこちらに集中させたところで「皆さん！」と号令をかけます。全員、声を合わせて「おはようございます！」とあいさつします。

これが「朝のあいさつ」のフォームです。

ムダがないリーダーの動き・呼吸がピタッとあった「おはようございます」の声。

これでモーニングセミナーの一切が決まります。

## 十七ヶ条斉唱

進行は、朝のあいさつが終わると同時に

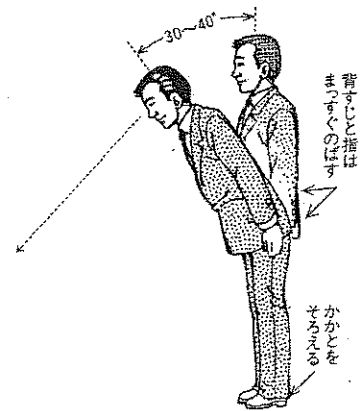
「十七ヶ条斉唱！ 目次をお開きください。」とコールします。

「間」が抜けないようにご注意ください。

すかさず席を立てるよう、体勢を整えておきましょう。

リーダーは、ややゆっくり目に、大きな声で号令をかけてください。

その方が、全員声を揃えて読みやすくなるものです。



## 『万人幸福の栞』輪読

進行は、十七ヶ条斉唱の最後、「・・・その主役は、己自身である」で

すかさず『万人幸福の栞』輪読、第〇条、〇ページをお開きください。」とコールします。

リーダーは、はじめの段落を読んだあと、切れの良い「ハイッ」の号令で進めます。

基本的に、段落ごとに区切っていきます。なるべく多くの人に読んでいただけるよう、場合によっては内容ごとに区切るのも結構です。ここでも、活力あふれる「テンポ感」が大切です。ゆっくり読んでいても、「間」がしまっていれば、キリッとした空気が漂うものです。それによって、その日に勉強する内容が、深くしみわたるようになっていきます。

## 会長あいさつ

進行は、参加者が『万人幸福の栞』を閉じて机に置いたタイミングで、「会長挨拶、〇〇〇〇会長！」

と、元気よく呼び出します。

会長は、すかさず「ハイッ！」と返事をし、すばやく（しかし、見た目はゆっくりと）中央に出ます。

ここからは、定番のフォームがありません。始めのあいさつもごく自然に行ってください（「皆さんっ！」とやらずにごく普通に）。

基本的に、会長があいさつをすることになっています。毎週お送りしている「今週の倫理」を内容に盛り込み、お話いていただくのがよろしいでしょう。

## 誓いの言葉

進行は、連絡事項が終わり、担当者が中央から離れたと同時に、「誓いの言葉、〇〇〇〇（役職名）」と、元気よく呼び出します。（担当者が着席するまで待っていると、「間」が空きすぎる場合がありますのでご注意ください。）

誓いの言葉のリーダーは、すかさず「ハイッ！」と返事します。進行は「ご起立ください！」と皆さんに向かってコールします。担当者は、その間に、すばやく（しかし、見た目はゆっくりと）中央に出ます。

中央に立ったリーダーは、皆の視線を十分集めて、「ただ今より、実践の決意を誓いましょう」とゆっくりコールし、一呼吸おいて「今日一日っ！」と大きな声で号令をかけます。

全員で声を揃えて「朗らかに、安らかに、喜んで、進んで、働きます」終わると同時に、進行「ご着席ください」。皆が着席をしている間に、担当者は元の席に戻ります。

全員、最初の姿勢に戻ったところで、進行は「以上で、〇〇倫理法人会、第〇〇回、経営者モーニングセミナーを終わります。（ベル５秒）ありがとうございました！」で締めくくります。

## 15、モーニングセミナー役職者の心得

(一社)倫理研究所 丸本敏文

モーニングセミナー（以下 MS）開催の目的は「純粹倫理の理解を深め、実践意欲を喚起し経営者の相互啓発をはかる」とある。そのモーニングセミナーを活性化していくためお世話役である役職者としての心得を学ぶ。

### 経営者モーニングセミナーの意義

自らが自己革新を図り、企業と家庭の健全な繁栄と地域社会の発展、ひいては日本創生に貢献するリーダーを育成するために、

- ◇ 純粹倫理の学習・実践の場
  - ◇ 朝型の生活習慣を体得する場
  - ◇ 異業種交流・情報交換の場
- として、

- ◇ 週 1 回（曜日を決めて）
- ◇ 原則として朝 6 時からの 1 時間
- ◇ 経営者およびそれに準ずる人を対象に行ないます。

（『経営者 MS マニュアル』P. 1）

### （1）役員朝礼実施の目的と留意点（『経営者 MS マニュアル』より）

#### ① MS 開始 30 分前に実施する。

準備はよいか。用意はできたか。「用意周到」とは、設備とか資本とか、そうした物に関する方面だけでよいであろうか。実はこの奥に、こうした物のすべてを生かすか殺すか、そのノド首をぎゅっとおさえているものがある。

それは関係者すべての精神の一致、ことにその中心となる人—夫婦の心の合一であって、これが、事の成る・成らぬの根本である。（中略）

こうした心の準備ができて、はじめて物質的方面の用意に生命が入りこみ、生きてくるのである。

（『サラリーマンと経営者の心得』P. 158～159）

#### ② 参加者を明るく迎えるため、役員相互が心身の活力を高め、気を合わせると共に情報の共有化を図る。

- ・ 調和（発声・動作の一体感、統一感）
- ・ タイミング（引き締まった間）
- ・ 集中（ハリのある声、きびきびした動作）
- ・ 洗練（「型」に根ざした品性）

#### ③ 役員朝礼のレベルアップを図るため、チェックリーダー（MS 委員等）を置く。

##### <岡目八目>

当事者よりも第三者のほうが物事の是非をよく見極められること。通説では、そばで囲碁を見ている者は対局者よりも八目先の手を読める意からという。

## (2) MS 役職者の心得

### ① 我ら役職者は、セミナー参加者に喜んで頂ける、お世話役に徹します。

- ・ 『万人幸福の栞』第10条より  
働き = 生きがい 報酬 = 喜び ← 真心で働く
- ・ お世話役 = おもてなしの心

### ② 我ら役職者は、会長と心を合わせ、チームワークの向上に徹します。

平成26年度倫理研究所の基本方針「上下一心」

身分や地位の上下を問わず、一つに団結すること。「一心」は、心をつ一つにして団結すること。全員が一丸となって事に当たれば、困難を乗り越えられること。

### ③ 我ら役職者は、組織活動を重視し、マニュアルに沿った行動に徹します。

やり方にくるいはないか。方法は大丈夫か。形に現われた、人の配り方とか、物の使い場所とか、場所の選びようとか、そうした物に関する方面は、普通ぬかりなくやる方だが、さて心の面になると、

- 1、皆の心がぴったりと、一人で呼吸するようにそろっているか。
- 2、進んで喜んで、かかっているか。
- 3、堤防をおしきって押し流す大水のように、猛烈な勢いで進んでいるか。

一つ心にかたまって、思いきって行なうとき、ここに奇蹟が現われる。奇蹟とは、できそうもないことが、思いもよらぬとき、思いもよらぬすばらしいあらわれ方をしたことをいうのである。

『サラリーマンと経営者の心得』P.161～162)

### ④ 我ら役職者は、積極大胆に自己革新を図り、明るい先手の挨拶に徹します。

「挨拶」は押す、「拶」は迫る、という意味。禅宗の師が弟子と問答をして、相手の悟りの深さを図ることが語源。「あいさつのポイント」は…

- ・ 先手で
- ・ 明るくハッキリと
- ・ いつでもどこでも誰にでも

→『新世』2月号

### ⑤ 我ら役職者は、事後の緊張に努め、感謝の心で後始末に徹します。

あと始末の第一は、終ってもなお緊張をゆるめぬこと、気を張っていることである。やれやれこれで一仕事すんだ……と、アホウのように気ぬけして遊んだりすると、そこから仕事がかくずれる。入学試験の大切な心得は、終ってもなお結果がわかるまで心をゆるめぬことである。

第二は、すみやかに、くさびを打ち、支柱を立て、礼状をだし、アイサツをすます。復命し報告する。披露をし、除幕式をし、道具を洗って取り片づけ、あとの掃除をきっちりする。これは、すぐしなければだめである。だらだらしていると、もうあと始末をしないのと同じである。

『サラリーマンと経営者の心得』P.162～163)



## 2. 基本動作の習得訓練

### (1) 「気をつけ」の姿勢

すべての基本は「気をつけ」の姿勢から始まります。



## (2)返事の練習

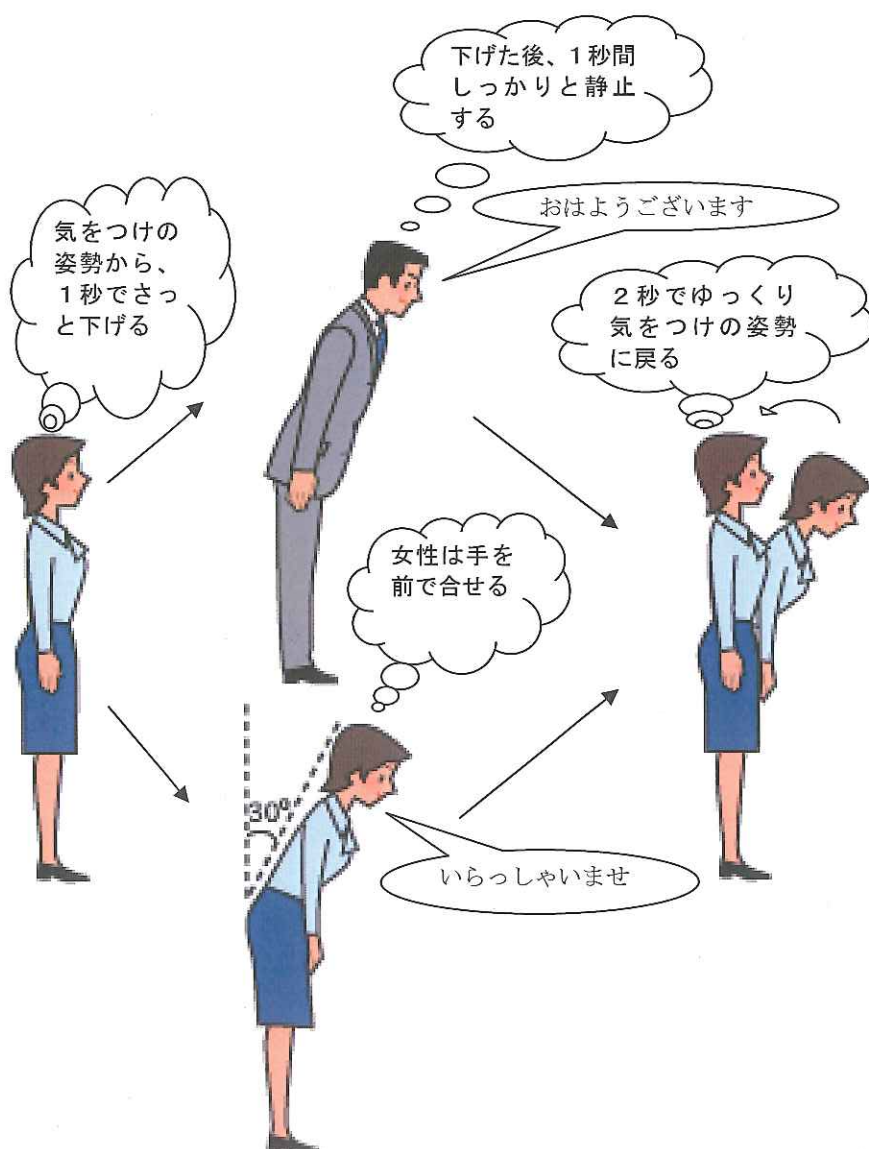
間髪を入れない「ハイ」という元気のよい返事を聞くと、まわりの人まで気持ちが明るくなります。

「ハイ」と言う返事は、「あなたと仲良く和合していきます」という意志表示であり、相手との関係をより深めようとする意欲の表現です。いついかなるときでも反射的に、明るく元気な返事が出来るように訓練しましょう。

## (3)「あいさつ」の練習

人を尊敬し、人を愛する心。この真心の発動が「あいさつ」です。それには自分の方から先に、相手の顔を見ながら、明るい表情で行うことです。

あいさつの三要素は、①先手で、②明るく、③美しく



### 表情・言葉・動作 の基本

- ① 明るい表情
- ② 明るい声
- ③ 正しい姿勢  
(首筋と背筋が一直線)
- ④ 正しい動作
  - a. 角度
    - ・会釈 15 度
    - ・敬礼 30 度
    - ・最敬礼 45 度
  - b. 動作
    - ・基本は4動作
    - ・女性は下げた時に手を前で組みます
  - c. 視線
    - ・会釈 7m
    - ・敬礼 2m
    - ・最敬礼 1m



## 倫理法人会憲章

倫理法人会は、実行によって直ちに正しさが証明できる純粹倫理を基底に、経営者の自己革新をはかり、心の経営をめざす人々のネットワークを拡げ、共尊共生の精神に則った健全な繁栄を実現し、地域社会の発展と美しい世界づくりに貢献することを目的とした団体である。

これがため以下の「活動指針」と「会員心得」を掲げる。

## 倫理法人会活動指針

1. 倫理の学習と実践の場を提供し、よりよい生活習慣とゆたかな人間性をそなえたリーダーを養成する。
2. 深く家族を愛し、篤く祖先を敬い、なごやかでゆるぎない家庭を築く人を育てる。
3. 「明朗」「愛和」「喜働」の実践により、躍動する職場づくりを推進する。
4. 愛と敬と感謝の経営をめざす会員の輪を拡げ、各種の活動をとおして地域社会の発展に寄与する。
5. 自然を畏敬・親愛し、「地球人」たる自覚を深め、環境の保全と美化に貢献する。

## 倫理法人会会員心得

1. 朗らかに働き、喜びの人生を創造します。
2. 約束を守り、信頼の輪をひろげます。
3. 人を愛して争わず、互いの繁栄をねがいます。